

2 令和8年度 指定管理業務計画

- ・ 令和8年度 介護実習・普及センター事業計画
- ・ 令和8年度 高齢者総合相談センター事業計画
- ・ 令和8年度 福祉人材センター事業計画

令和8年度 介護実習・普及センター事業計画

1 基本方針

県民一人ひとりが健康寿命を伸ばし、住みなれた地域で自分らしく生活できるよう、生涯を通じた健康づくりやフレイル予防、認知症予防に努めることが求められている。人生100年時代を受けて、高齢になっても健康な状態で生活できるよう、ライフステージに応じた健康教室や介護機能の強化を図る教室を実施する。

さらに、在宅における自立支援や重度化防止、および介護者の負担軽減のための福祉用具や介護テクノロジー等などの普及・啓発、住宅改造モデル展示場活用など介護実習・普及センターの役割の周知も積極的に行う。

2 事業内容

(1) 介護を中心とした高齢者のニーズにかかる情報提供

県民や企業、団体等に対して介護及び福祉用具、介護ロボットやICT機器、住宅改修等に関する情報を提供し、広報を行う。

- ① 各種チラシ・パンフレットの作成・配布
- ② 情報誌への掲載とともに、ホームページ等SNS情報の発信
- ③ 報道機関等のメディアを活用した広報
- ④ 図書、DVD等の貸出し

(2) 福祉用具、介護ロボット等普及啓発

- ① 福祉用具、介護テクノロジー等の展示、住宅改修モデルの展示
- ② 福祉用具、介護テクノロジー等に関する研修
- ③ 福祉用具、介護テクノロジー等の利用方法等の情報提供
- ④ 福祉用具、介護テクノロジー、住宅改修等に関する助言・相談
- ⑤ 福祉用具製造事業者等に利用状況を還元できる体制の整備

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P15）のNo.1～9のとおり

令和8年度 高齢者総合相談センター事業計画

1 基本方針

超高齢社会の進展に伴い、高齢者やその家族が抱える福祉・保健・医療や各種の心配ごと・悩みごとなど複雑・多様化している高齢者問題に対し、専門的かつ総合的な相談活動に努め、高齢者及びその家族の福祉の推進を図る。

また、地域住民にとって身近な相談機関となる地域包括支援センター等に対して相談対応に係る各種情報提供を行う。

2 事業内容

(1) 電話・面接による相談の実施

高齢者やその家族の抱える心配ごと・悩みごとを解決に導くために、電話や面接などにより相談員が相談に応じる。

(2) 情報の収集・整理

高齢者やその家族の抱える各種の心配ごと・悩みごとを解決に導くために必要な各種情報の収集・整理を行う。

＜ 相 談 体 制 ＞					
相談事項		相談内容	相談員	曜日	時間
一般相談		心配ごと・悩みごと等各種の相談や福祉情報の提供	高齢者総合相談センター相談員	火曜日～ 日曜日	8：30～ 17：00
専門相談	医療・介護・機能回復	健康管理、介護方法、リハビリ等に関すること	ケアマネ 看護師 理学療法士 作業療法士等		8：30～ 17：00 (要予約)
	からだの悩み	食事・栄養・排泄・痛み等、身体 の悩みに関すること	保健師	第2火曜日	13：00～ 16：00 (要予約)
	言語・聴覚・嚥下機能回復	言語・聴覚・発声・発音・飲込み等に関すること	言語聴覚士	奇数月 第3金曜日	
	法律	遺産相続・金銭貸借・離婚等、法律に関すること	弁護士	第3水曜日	
	税務	各種税金に関すること	税理士	第2木曜日	
	住宅増改築	高齢者向け住宅の増改築に関すること	一級建築士	偶数月 第3金曜日	
	認知症介護	認知症介護に関すること	認知症の人と家族の会	火曜日～ 金曜日	10：00～ 15：00

(3) 市町村等の相談体制の支援に必要な研修及び情報提供

- ① 地域包括支援センター等、相談業務担当職員対象の研修を実施
- ② 広報紙「研修センターだより」やホームページ、SNS 等による情報提供

(4) 広報活動

マスコミや県、市町村の広報誌、SNS の活用、研修などを通じて、広く高齢者総合相談センターの活用促進を図る。

(5) 福祉用具展示場の活用

福祉用具や介護用品の利用方法及び購入などの相談に対応するとともに、事業所に対する福祉用具の試用貸出を行う。

(6) 高齢者の居住環境の改善に関する啓発

「福祉用具展示場・住宅改造モデル展示場案内」、「住宅改造モデル展示場のご案内」等のリーフレットを関係機関や関係職種等の研修受講者に配布するとともに、SNS も活用し、福祉用具展示場や住宅改造モデル展示場の普及・啓発を行い、利用促進を図る。

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P15）のNo.10のとおり

令和8年度 福祉人材センター事業計画

1 基本方針

福祉・介護職場への就職を促進するため、福祉施設等の求人・求職の紹介、斡旋や就職フェア等を開催するとともに、職業選択につながる情報発信の強化や福祉関連資格取得のための研修等を実施し、福祉人材の確保や育成を図る。

2 事業内容

(1) 福祉人材無料職業紹介事業

- ① 求職・求人登録及び斡旋を実施するとともに、職業紹介担当者による各種面接相談、指導等を実施する。
- ② 求職・求人相談事業の実施
求職・求人登録者に対し、求人情報誌を送付（毎月）し、求人情報を提供する。
- ③ 公共職業安定所、介護労働安定センター、看護協会、福祉系学校、職能団体等との連携
各関係機関との連携を密にし、求人・求職者の情報交換等を行う。
- ④ 日田市福祉人材バンクとの連携
無料職業紹介をはじめとする事業について、連携を強化することにより、福祉人材確保対策を包括的に推進する。
- ⑤ 福祉人材情報 C00L システムの活用
 - ア 福祉人材情報の統計等の活用
 - イ インターネットによる求人情報の提供
 - ウ 求職者に対するインターネットでの福祉情報の提供
（「福祉のお仕事」ホームページの活用）
- ⑥ 福祉系学生のための福祉職場就職推進活動
福祉系学校への進学又は福祉職場への就職を考えている学生等に対し、資格や福祉職場についてアドバイスなどを行う。

(2) 福祉に関する啓発・広報事業

- ① 新聞への求人情報の掲載、機関誌の発行、リーフレットの配布等を行う。
- ② 福祉人材センターホームページの充実・運営
福祉人材センター情報発信のコアとしてホームページを充実強化する。また、求職者向け・事業者向け研修等の情報や SNS 活用等による発信メニューを強化し、福祉・介護情報のハブ的な役割を担う。

(3) 福祉職場への就職説明会

福祉職場に就労を希望する者を対象に「福祉のしごと就職フェア」を開催する。

実施回数：2回（夏・春）

実施内容：求人施設との合同面談会、就職・資格等相談

(4) 大分県福祉人材確保推進事業

① 大分県福祉人材確保推進会議

福祉、特に介護職場での人材確保を図るため、関係者による課題の共有、課題解決のための協議・研究・情報交換を目的に開催する。

参加者：福祉施設関係種別協議会、職能団体、介護の専門学校、大学、高校、介護労働安定センター、大分労働局、大分公共職業安定所、県関係課

② 介護職再就職支援講習会

介護現場への再就職を希望する者を対象に、専門知識や介護技術の講習を実施し、就職支援を図る。

実施回数：年1回×2日間

③ 子どものための福祉講座

小・中・高校生に対して、介護福祉体験や地域の様々な資源とつながりを持った福祉教育を実施し、地域社会の一員としての福祉意識の向上と、これからの福祉を担う人材の育成を図る。

実施場所：社会福祉介護研修センター、県内の小・中・高等学校、公民館等

対象者：県内の小・中・高等学校の児童・生徒及び保護者

事業内容：介護福祉体験、福祉用具展示場見学、地域づくりを目指した福祉教育等

④ 調査研究事業

ア 県内の社会福祉施設等での職員採用や退職の実態、中高年齢者の受入状況、さらには人材確保や定着のための対策等を調査し、今後の人材確保に資するため「社会福祉施設等における人材確保に関する調査」を実施する。

イ 求職者の求職活動の参考として提供するため、「福祉の仕事・資格ガイドブック」（2027年版）を作成する。

(5) 福祉人材確保特別推進事業

① 社会福祉施設等新任職員研修及び社会福祉施設等新任介護担当職員研修

ア 社会福祉施設等新任職員研修

社会福祉従事者として必要な基礎知識、心得や福祉の理念及び介護技術等を習得するとともに自己啓発を図ることを目的として実施する。

イ 社会福祉施設等新任介護担当職員研修

介護業務に携わる職員の質の確保を図るとともに、サービス全体の質の向上を図ることを目的として開催する。

② 社会福祉士養成研修

令和8年度（第39回）社会福祉士国家試験の受験準備対策として、大分県社会福祉士会との共催により養成講座を開催する。

（6）離職介護福祉士等に係る届出の受理

社会福祉事業等に従事していた介護福祉士等の資格を有する方が離職した際、住所、氏名等の届出を受理する。

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P15～16）の
No.12, 13, 18, 25, 33 のとおり